



あいさつする小滝社長

レアアースの セミナー開催

マテリアル・
トレイディング

マテリアル・トレイディング・カンパニーはこのほど、セミナー「第3回希土類会議シリーズ」いま、レアアースが牽引する「日本経済再生」を都内で開いた。経産省製造産業局希有金属室長の井上幹邦氏を招き、レアアースの内需が減退するなかでリサイクルや新規用途開拓などの技術開発を進め、日本が世界のハイクラス産業をリードしていくことの重要性を強調。小滝秀明社長は業界関係者など約120名来場したことに先立ち「今後もレアアース業界の未来について議論をし合える場として(セミナーを)継続していきたい」とコメントした。

セミナーでは、独立行

政法人・日本原子力開発機構の長縄弘親氏が、エマルション

フロー法を用いたレアアースの回収・リ

サイクル技術について解説。ジグリコー

ルアミノ酸を用いて、工場廃水や工程

液に含まれるレアメタルなどの有価成分

を省エネ・低コストで回収できる方法として、実

用化にメドを付けている。この技術を応用し、

マテリアル・トレイディングカンパニーは、経産

省からの助成を受けながらアサカ理研と3者合同

で光学ガラス製造における廃材からおもに軽希土

類を回収・リサイクルするシステムの構築を進め

ており、年内をめどに量産化する計画を立てている。

インタerview

リックスの最高技術顧問である佐川真人氏が、ネオジム磁石などの希土類磁石の開発・応用にいたるまでのプロセスについて解説。日本の磁石開発について「レアアースの主産地国である中国などアジア勢に市場を奪われてしまう前に、日本は真のニーズを先取りして開発を進めていくことが不可欠だ。これは(磁石以外の)ものづくり全般においても共通して言える」と(同)と、さらなる技術革新の必要性を説いた。